11/27朝日

# 子どもに10万円 事務費「1200億円」

## 現金とクーポン併用なら

岸田政権が決めた18歳以下の子どもへの10万円給付をめぐり、衆院予算委員会理事懇談会に出席した立憲民主党の後藤祐一氏は26日、現金5万円とクーポン5万円に分けて支給する事務作業にかかる費用について、財務省が約1200億円かかると説明したことを明らかにした。後藤氏は、現金だけでなくクーポンと2回に分けたことで事務費が約900億円も増えたと指摘、臨時国会で政府に問いただす考えだという。

後藤氏によると、財務省の担当者は理事懇で、現金給付の事務費は約300億円かかると説明。クーポンもあわせると「最終的に1200億円かかる」と答えたという。

岸田政権は18歳以下の子どもを育てる世帯の支援として、所得制限つきで子ども1人あたり10万円相当を給付する。先行して現金5万円を支給し、残りの5万円分は子育て関連の商品やサービスに利用できるクーポンとして渡す。予算総額は約1兆9千億円になる。

後藤氏は理事懇後、記者団に「1回で10万円を振り込めば、事務費はだいたい300億円になる」と指摘。「2回目をクーポンにすることで900億円ぐらい余計にかかる。なんでそんなことをしてまでクーポンで給付するのか」と問題視した。

（北見英城）